

施策番号	0701		
施策名	それぞれの年齢や個性、環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり（「するスポーツ」）		
概要	市民が、それぞれの年齢や個性、環境に応じて、スポーツやレクリエーションを楽しめるよう、施設の効果的・効率的な整備、機会や情報の提供、活動を支える人材の育成等を行う。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関する主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		平成30年度	令和元年度	令和2年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	本市スポーツ施設の利用件数(件)	b	b	399,911	368,030	431,672	85.3%	b	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
客観指標総合評価		b	b					b	

2 市民生活実感評価

設問		平成30年度	令和元年度							令和2年度※
			評価	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数	
1	気軽に体を動かしたり、スポーツやレクリエーションを楽しんだりする機会がある。	c	c	78	226	226	113	61	704	-
				11.1%	32.1%	32.1%	16.1%	8.7%		
2	-	-	-							-
3	-	-	-							-
4	-	-	-							-
5	-	-	-							-
市民生活実感調査総合評価		c	c							-

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により調査を一時休止しています。

＜総合評価＞

平成30	C	令和元	C	令和2	C	施策の目的がそこそこ達成されている
重み付け	☐ 客観指標 ☒ 市民の実感	市民みずからスポーツを「楽しむ」ことが施策の目的であるため、市民の実感を重視する。				

＜原因分析＞

客観指標総合評価

- ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。
☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。

市民生活実感調査総合評価

- ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。
☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。
 ・気軽にスポーツ等を楽しめるような機会・場所の提供・周知が十分でないため、市民生活実感調査はc評価で推移していると考えられる。

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞（令和元年度又は令和2年度新規事業）

	事業名	事業費の状況(千円)		令和2年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		令和元年度 決算額	令和2年度 予算額		
1					
2					
3					
4					
5					

＊予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・誰もが年齢、個性、環境に応じて、また、新しい生活スタイルに適応し、安全・安心にスポーツを楽しむことができるように以下の取組を行う。
- ・魅力あるスポーツ施設にするため、老朽化した既存施設等の計画的な改修に取り組むとともに、大規模改修や競技観戦環境の向上にも取り組んでいく。
- ・体育振興会、学校、大学、競技団体、指定管理者等と連携して市内スポーツ施設で実施しているスポーツイベント等の更なる周知に取り組み、「健康長寿のまち・京都市民会議」とも連携し、市民が気軽に体を動かす機会の増加を図る。
- ・より多くの市民の方がスポーツに親しむことができるよう、「スポーツウェブ京都」のホームページにスポーツに関する情報を集約するとともに、内容を充実させ、TwitterやFacebook等のSNSとの連携を進め、引き続き京都のスポーツに関する情報を発信する
- ・次期「京都市市民スポーツ振興計画」を国の次期計画策定を見据え、令和3年度中に策定する。

施策名	0701	それぞれの年齢や個性，環境に応じてスポーツやレクリエーションを楽しんでいるまちづくり（「するスポーツ」）					
指標名	本市スポーツ施設の利用件数(件)						
担当課	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6－0 1 6 8			
1 指標の説明							
本市スポーツ施設の利用件数							
2 指標の意味							
市民が，それぞれの年齢や個性，環境に応じて，スポーツやレクリエーションを楽しめる機会の提供や施設整備により，スポーツやレクリエーションを楽しむことができていることを示す指標							
3 算出方法・出典等							
出典：事業担当調べ							
4 数値							
	前回数値 平成30年度	最新数値 令和元年度	推移	数値	目標値 根拠	達成度	
数値	399,911	368,030	31,881件減	431,672	平成22年度現況値（329,719件）を基に令和2年度目標値に対する増加件数を計画期間10年間で按分算出	85.3%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値	-	443,000	令和2年度	83.1%			平成22年度現況値を基に京都市市民スポーツ振興計画に掲げる令和2年度「するスポーツ」の目標を達成するためのスポーツ施設利用件数を算出し目標とする。
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：80%以上～100%未満 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満							
6 基準説明							
当該指標については，目標達成以上をaとし，以下を20%刻みで基準を設定した。							
7 評価結果							
平成30	令和元	令和2					
b	b	b					